

これからPTA活動を始める皆さんへ
子どもたちのための活動を考えるヒントに！

わたしたちのPTA

～新たな取組で、
つながりがひろがるPTA活動～



【浅口市立金光小学校PTA】

金小スクールガードを組織し、業間休みや昼休みに見守り活動を行い、子どもたちに温かい声かけをしています。



【津山市立大崎小学校PTA】

感染症対策を講じながら、親子で「スマホ・ゲーム依存防止」について考える研修会を実施しました。

これまでの
「わたしたちのPTA」(冊子)はこちら→



PTAに関する情報・活動実践例を掲載しています。

PTA活動資料 わたしたちのPTA

検索



岡山県「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上
マスコットキャラクター

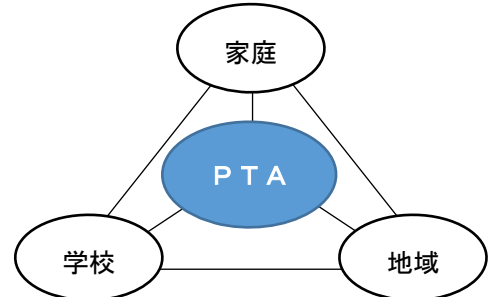
PTAの目的・性格

「PTA」とはParent（親）-Teacher（教師）-Association（組織）の頭文字をとったもの

PTAは、「子どもの健全な育成を図ること」を目的とし、保護者と教職員が協力して、学校及び家庭における教育に関し、理解を深め、相互に学び合い、活動を行う社会教育関係団体です。

PTAは、自主的で主体的な団体でなくてはなりません。子どもは、家庭や学校、地域で生活しながら様々な経験や活動を通して学び、成長していきます。そのためには、学校・家庭・地域が一体となり、それぞれの教育の責任を果たしていくことが必要です。

特に、学校と家庭の協力体制は大切です。保護者は家庭教育の領域で、教職員は学校教育の領域で、それぞれ対等の立場で互いを高め合う関係が望ましい協力のあり方です。また、この協力体制は、地域における子どもの教育においても重要な役割を果たすものです。



PTAは、学校・家庭・地域をつなぐ役割をもつ。

PTAは「学校の最大の応援団」であり、良き「パートナー」です！

PTAの活動内容

保護者と教職員で子どもへの思いを共有してPTA活動を進めていきましょう

<集う・支える活動>

○子どものために教育環境を整備する活動

・学校的环境整備、通学路点検、あいさつ運動、通学の見守り、資源回収 等

○子どもたちと関わる活動

・学校の教育活動へのボランティア、生活リズム向上の取組 等



<つながる活動>

○PTA会員同士がつながることができる活動

・PTA種目（運動会）、学級PTA活動、PTAレクリエーション大会 等

○PTAの情報を共有する活動

・広報紙（PTA新聞）づくり、ポスター（メディアコントロール等）の作成・啓発、ホームページ、SNSによる発信 等



<学び合う活動>

○学校の教育方針や目標、内容などを理解するための学習

・懇談会（学校・学年・学級・地区）、学年・学級PTA活動 等

○会員自らの成長のための学習

・PTA研修会等への参加や企画・運営、「親育ち応援学習プログラム」の実施 等



《PTAの主体的な取組と広報活動》 活動実践例：津山市立津山西中学校PTA

○主体的な取組

(1) PTA年間活動目標の設定

「100%の子どもたちが平日1時間以上家庭学習に取り組める環境をつくろう～家庭学習習慣の定着を目指して～」をPTA年間活動目標に設定し、家庭学習やスマホ・ネット利用についての取組を行うことにしました。

(2) 目標の達成に向けた取組

PTA主催の参加型研修会の開催（①家庭学習時間確保 ②スマホ・ネット利用時間・ルール）や、家庭学習とスマホ・ネット利用についての実態調査を行いました。



PTA 主催参加型研修会

○広報活動

年3回発行するPTA新聞とは別に、参加型研修会の内容や参加者の声をフィードバックした新聞を作成して全家庭に配付したり、メディアコントロール週間（年3回）の実施期間には一斉メール配信により取組を呼びかけるなど、積極的な広報活動を行っています。

平日1時間以上家庭学習に取り組む生徒の割合
1学期 62.6% ⇒ 3学期 77.4%に上昇!

(6) 友達と相談せずに、自分の思うように記入してください。

	調査 項目	調査 項目 （保護者 側より 調査し ません）	調査 項目 （保護者 側より 調査し ません）	調査 項目 （保護者 側より 調査し ません）	調査 項目 （保護者 側より 調査し ません）
1	平日の家庭学習時間は、平均してどれくらいですか。	0	0	0	0
2	休日の家庭学習時間は、平均してどれくらいですか。	0	0	0	0
3	平日のメディア（スマホ、ゲーム、TV等）にかける時間は、平均してどれくらいですか。	0	0	0	0
4	休日のメディア（スマホ、ゲーム、TV等）にかける時間は、平均してどれくらいですか。	0	0	0	0

(7) 授業や学校生活について、気になることや相談したいことがあれば記入してください。

家庭学習とスマホ・ネット利用の実態調査

《地域との連携》 ^{あらと} 活動実践例：新見市立新砥小学校PTA

親子のふれあい事業「金ボタル鑑賞会」では、子どもたちが作製したランタンをホテルの生息地までの道に親子で設置し、金ボタル（ヒメボタル）と一緒に鑑賞します。美しい金ボタルやその保護に対する地域の方の思いを親子で感じ、改めて新砥地区で子育てする良さを再確認することができる行事となっています。PTAと地域の方や団体等が連携することで、地域ぐるみで子どもを育てる温かい雰囲気が醸成されています。



子ども・保護者・教職員・地域住民のみなで金ボタルを守るために清掃活動を行っています。

子どもも親も、生き物や地域を大切にする気持ちが高まっています。子どもたちには、金ボタルを守る会の方の姿が素敵で大人として映っています。



保護者

保護活動を行う子どもたちの誇らしげな表情を見るときが、一番良かったと思う瞬間です。地域を大切に思う子どもが育っていることがうれしいです。



金ボタルを守る会の方

各校園PTA活動でぜひ取り組んでほしいこと 7つ を紹介します！

- 1 非認知能力の育成 (P3) ……幼稚園・こども園PTA
- 2 家庭学習習慣を身に付けるために (P4上) ……小学校・中学校PTA
- 3 適切な「スマホ・ネット」の利用 (P4下) ……全校種PTA
- 4 発達障害のある子どもへの支援 (P5上) ……全校種PTA
- 5 キャリア教育への参加 (P5下) ……高等学校PTA
- 6 人権教育研修 (P6上) ……全校種PTA
- 7 生活習慣を整えるための取組 (P6下) ……全校種PTA

特にお願いしたい校種を示しています。活動の参考にしてみてください。



1 非認知能力の育成

子どもたちが生きるこれからの時代は予測困難時代とも言われ、決まった答えのない問題には、そのときの状況に合わせて自分なりの答えを見つけていくことが求められます。諦めずに答えを見出すためには、「非認知能力」というテストでは測れない力が必要だと言われています。岡山県が進める「夢育」では「自分を高める力」を柱とした非認知能力の育成を推進しています。

家庭で育みたい3つの非認知能力

『自分を高める力』

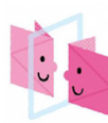
自分をさらに
より良い状態に
するために必要な力



やる気・意欲・向上心・
挑戦心・楽観性など

『自分と向き合う力』

自分の気持ちや
状態を落ち着か
せるために必要な力



ねばり強さ・我慢強さ・
回復力など

『他者とつながる力』

他者と協働する
ために必要な力



協調性・社交性・共感性・
コミュニケーション力など

PTAとしてできること ～研修で「非認知能力」について学びましょう～

子どもたちの「やってみたい」「やってみよう」という意欲ややる気の育成は、子どもにとって身近な大人の関わりと大きく関係しています。

就学前の非認知能力は、保護者が子どもの姿（結果やゴールではなく、プロセス）から「いいところ」を見つけ、意識づけすることで育まれます。

PTAの研修会等で、非認知能力の育成について学びましょう。

詳しくは、7ページをご覧ください。



非認知能力 ?



おてがるコース（基礎的知識を学ぶ、30～60分）
「親育ち応援学習プログラム」3種類

じっくりコース（深くしっかり学ぶ、3日間）
「非認知能力レンズで『いいとこ』みっけ!!」

非認知能力について学ぶショートプログラムを追加しました。



※実施等の問合せ先（電話番号・メールアドレス）

岡山教育事務所生涯学習課 086-221-7776 oka-kyoiku-syougai@pref.okayama.jp

津山教育事務所生涯学習課 0868-24-8703 tsuya-kyoiku04@pref.okayama.jp

2 家庭学習習慣を身に付けるために

子どもの学びを支える3つのポイント

Point1. 子どもを支える学習環境づくり

家庭学習の習慣は、学習しやすい雰囲気と家族、保護者の関わりが何より大切です。何気ない会話やふれ合いなどの一緒に過ごす時間が子どもたちの心の支えとなり、学習などへの意欲につながります。



Point2. 宿題と自主学習

学校が出す宿題だけではなく、自主的に間違い直しをしたり、興味があることを調べたりするなど、自主学習に取り組むことは、学ぶ意欲を高めます。

Point3. 望ましい生活習慣

生活習慣は全ての根幹です。改善に向けて頑張ったところをしっかりとほめるなど、あせらず粘り強く関わりましょう。



PTAとしてできること（活動例）

- 家庭の様子、困ったことなどを話し合い、「家庭学習のルール」を決める。
- 研修会で、子どもの意欲を育むための関わり方や望ましい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール等）について取り上げる。 等



『家庭学習のスタンダード～子どもが伸びる家庭学習～』

をご活用ください。家庭学習のルールや学年に合わせた保護者の関わり方などについて詳しく説明しています。

岡山県教育庁義務教育課

検索



3 適切な「スマホ・ネット」の利用

学校では、1人1台の学習者用コンピュータ端末等の導入を進めています。授業や家庭などさまざまな場面において、調べ学習や自分の理解度に合わせた学習などに活用することで、新たな学びの幅を広げています。子どもたちには、インターネット等の便利な面と危険な面を理解した上で、効果的に利用していくことが求められます。「スマホ・ネット」について保護者同士、親子で考える場を設けましょう。



PTAとしてできること（活動例）

- PTAの部会で全校児童・生徒の「スマホ・ネット」の実態をアンケートで調査する。
(スマホやネットの使用時間、ルールの有無、困っていること等)
- 「スマホ・ネット」問題の解決に向けた取組を考える。
(研修会の開催、参観日に親子でルールについて話し合う、各家庭の取組や工夫を広報紙に掲載する 等)



各家庭でルールが異なると、守ることが難しい場合があります。

学校全体で取り組む重点ルールを決めるなど、学校・家庭が協力することが大切です。

- ★岡山県教育委員会では子どもたち自身の主体的な活動によりルールづくり等の取組を進める「OKAYAMAスマホサミット」を開催しています。詳しくは7ページをご覧ください。

4 発達障害のある子どもへの支援

発達障害とは

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

それぞれの障害の特性

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動、興味・関心のかたより
- 不器用（言語発達に比べて）

注意欠陥多動性障害 AD/HD

- 不注意（集中できない）
- 多動・多弁（じっとしてられない）
- 衝動的に行動する（考えるよりも先に動く）

学習障害 LD

- 「読む」、「書く」、「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

【出典】
政府広報オンライン
特集「発達障害って、なんだろう？」

周囲の関わり方の大切さ

本人の特性

- ・できることとできないことの差が大きい
- ・人と違った感じ方、考え方をする

気持ちが伝わり、ほめられ、支えてもらうと...

気持ちが伝わらず、叱られ、孤立すると...

- ・自己肯定感が高まり、集団の中で、本来の良さが発揮される

- ・自己肯定感が下がり、望ましくない社会行動が生じやすくなる

周囲が本人や保護者を温かいまなざしで応援していただくと好循環が生まれます

※自閉症・広汎性発達障害、アスペルガー症候群等は、「自閉症スペクトラム」と呼ばれることもあります。

進学先は…

高等支援学校や特別支援学校高等部知的障害部門に入学する基準は、「知的障害があること」が前提となるため、知的障害のない発達障害のある生徒は、原則として高等支援学校や特別支援学校高等部に入学することができません。

早い段階から、通常の学級集団での活動への適応力を身に付けておくことが大切です。

個別的教育支援計画等を活用して、進学先に情報を引き継いでいくことが重要です！

5 キャリア教育への参加

子どもたちは、出会いの数だけ、新しい自分に出会えます

地域の未来を担う子どもたちと地域で活躍する大人が交流できる機会があれば、子どもたちは自分の意志で進路や将来の生き方を選択できるきっかけになるのではないのでしょうか。

多様化する社会において、多くの大人と出会い、様々な職種の仕事を知ることは、子どもたちの人生の道しるべとなります。

県内には、キャリア教育の活動にPTA会員が参加し、社会経験や仕事について、子どもたちに語る場面を積極的に設けている学校もあります。PTAの皆さんには、子どもたちが、社会的・職業的に自立して自分らしい生き方を実現していくために、ぜひ、身近な大人として、こうした取組の充実にご協力いただきたいと思います。



PTAと学校がつながるキャリア教育の効果

- 子どもたちは、地域のことを知ることができ、郷土の愛着につながる。
- 子どもたちは、自分の夢や目標を発見することができ、将来の進路選択につながる。
- 大人は、子どもたちの様子がわかり、学校教育への理解につながる。

6 人権教育の研修

人権意識を高める！

研修の目的 ……人権や人権問題に対する正しい理解を深め、人権感覚を養います。

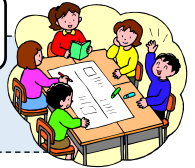
○研修のテーマ[内容] <例>

- 子ども[いじめ、児童虐待、自尊感情の育成、SOSの受け止め方]
- 同和問題[就職差別、結婚差別]
- 障害のある人[インクルーシブ教育]
- インターネットによる人権侵害[情報モラル、プライバシーの保護]
- ハンセン病問題
- 患者等[HIV感染症、新型コロナウイルス]
- 女性[DV、ジェンダー平等、性暴力]
- 外国人[多文化共生]
- 性的マイノリティ[性自認、性的指向、性の多様性]
- 高齢者[認知症] 等

○研修方法 <例>

- ◆講演会
- ◆人権啓発動画・DVDの視聴(視聴後、感想等の話し合い)
- ◆ワークショップ(ペア・グループワーク)や交流体験などの参加体験型の研修

とても効果的です！



講師情報「人権教育講師バンク」

講演会や研修会等を充実させるため、人権課題ごとに講師を紹介しています。(県教育庁人権教育・生徒指導課Webページに掲載)

※登録数は56名、5団体(令和4年1月現在)

人権啓発DVD

【県生涯学習センター】無料でDVD、プレーヤー、プロジェクターの貸出しを行っています。(教材名や利用方法は県生涯学習センターWebページに掲載)

※ご希望の方は、DVDの宅配も利用可能です。

★人権教育に関わる資料については7ページをご覧ください。

7 生活習慣を整えるための取組

あいさつ運動、大好き！学校に呼んでくれるとうれしいよ。



「生活リズム向上キャンペーン」



基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん、メディアコントロール、適切な運動、手洗い・うがい等)を整えることは、学習意欲や気力の充実、学力や体力の向上につながるといわれています。

岡山県教育委員会では、望ましい生活習慣の確立に向け、学校や家庭、地域が一丸となって取り組む「ぱっちり! モグモグ」生活リズム向上キャンペーンを実施しています。また、生活リズム向上のための活動を実践し、特に工夫した取組を行っている学校園等を表彰しています。

「ぱっちり! モグモグ
ツーウィーク」

チャレンジ・カードを
ご活用ください。 →



<早寝>

- ・小3までは21時、小6までは22時、中学生は23時までには就寝しましょう。

<早起き>

- ・カーテンや窓を開けて朝日を浴びたり、少し体を動かしたりしましょう。

<朝ごはん>

- ・主食、主菜、副菜のそろった朝食を摂るようになると、昼間の集中力がアップします。

生活リズムを整えるためのめあてを決めて、2週間取り組むことができるカードです。

PTA研修等で活用できる資料

New

家庭教育に関わる資料

「親育ち応援学習プログラム」

学級懇談、
入学説明会等
おすすめです。



親育ち応援学習プログラム

検索

「非認知能力レンズで『いいところ』みつけ!!」



就学前の非認知能力の育成の大切さと保護者の関わり方を学びます。
まずは、親プロのショートプログラムで体験してみてください。

スマホ・ネットに関わる資料

「わが家のスマホアクション」

親子で視聴しながら学べます。ペアレンタルコントロールの導入の仕方を動画で説明しています。



わが家のスマホアクション

検索

「『スマホ』購入虎の巻!! ~いつか来るその日のために~」



「OKAYAMAスマホサミット」の開催

「OKAYAMAスマホサミット」では、子どもたちが学校の実践発表やグループ協議を行い、スマホ・ネット問題や適切な利用について考えます。児童生徒主体の活動を、PTAが支えていくことで、家庭や地域へ取組を広げやすくなります。

「OKAYAMAスマホサミット2021」
成果報告会の動画をご覧ください。



成果報告会
ダイジェスト



シンポジウム



「『うちの子は大丈夫!!』
それって本当ですか!?!」

(スマホ・ネット問題に関する啓発チラシ)



人権教育に関わる資料

「PTA人権教育研修プログラム
~子どもの健やかな育ちのために~」



岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

検索

「社会教育における参加体験型の人権学習
ワークショップの手引き」



その他、人権教育関係資料、研修プログラムはWebページからダウンロードできます。

「岡山県家庭教育応援条例」(施行:2022年4月1日)

この条例は、保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう社会全体で応援することを目的に定められました。県では家庭教育を応援する様々な取組を行っています。PTA会員の皆様に活用していただくのはもちろんのこと、PTA活動でも子育てについて気軽に話ができる関係や場づくりを進めましょう。

